



羽村市ゼロカーボンシティ宣言

2015年に合意されたパリ協定では、世界的な平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求するという目標が掲げられました。これを達成するためには、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

我が国においても、令和2年10月の内閣総理大臣所信表明で「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」が宣言されました。

こうした世界や国の動きに従い、市が率先して地球温暖化対策の推進に向けた決意を示すことで、市内における二酸化炭素排出量削減をより一層促進させていく必要があります。

市は、市民・事業者・市が一体となって連携・協力しながら、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」の実現を目指すことを宣言します。

令和6(2024)年2月21日

羽村市長

橋本 弘山